

第10回 卒業証書授与式

3月1日(金)、海南市長 神出政巳 様、海南市教育委員会教育長 西原孝幸 様、海草振興局健康福祉部長 市場敏男 様、海南市議会 議長 川崎一樹 様をはじめ18名のご来賓の方々の出席を賜り、第10回卒業証書授与式を挙行了しました。柳校長は、式辞の中で「皆さんがここで学んだ『家庭科』は、誰かの幸せを支えを演出・サポートする学問・技術であり、この『誰かのために真心を尽くす』という生き方こそ、人として何よりも大事な生き方だと私は思っています。また、そうした生き方をめざす日々の生活のなかに、味わい深い人生の喜びがあると信じています。卒業生の皆さん。いついかなる時も、明るく、力強く、丁寧に、『香り高き人生』を歩んでください。」とはなむけの言葉を送りました。また、卒業生の答辞では、生徒代表の山本実和さんから、学校生活での思い出やお世話になった方々への感謝の気持ちと、「器用に何でも出来る私たちではありませんが、その分誠実に、しっかりと自分の人生を歩いて行きます。」という力強い決意が述べられました。卒業式後は、生徒会主催の「卒業生を送る会」が開催され、3年間の思い出を綴ったDVDが上映された後、卒業生と在校生が一体となって「Best Friend」を歌い、海南下津高生としての絆を確かめました。そして、保護者、教職員、在校生の拍手の中、卒業生たちは学舎を巣立っていきました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんの今後の活躍を心からお祈りします。また、在校生の皆さんは、卒業生が残してくれた海南下津高校の素晴らしい伝統を後輩に受け継いでいくために、日々精進していきましょう！



2年進路ガイダンス

3月14日(木)、進学希望者と就職希望者に別れて2年生対象の進路ガイダンスを行いました。進学希望者は、大学や短大、専門学校を担当者の説明を受けた後、志望理由書の書き方についての講義を、就職希望者は、求人票の見方や面接の受け方について説明を受けた後、志望動機の書き方の講義をそれぞれの担当者から受けました。



卒業生体験講話「ようこそ先輩」

3月20日(水)、卒業生3名を講師として本校に招き、卒業生体験講話を実施しました。この体験講話は、仕事や社会生活の状況を知ること、将来の自己実現に向けての進路選択・決定の参考にすることがねらいです。今年、昨年度の卒業生である東京医療保健大学の小原麻由さん、和歌山信愛女子短期大学の黒崎夢未さん、セントケア和歌山株式会社の田中菜々美さんの3人に話をしてもらいました。生徒たちは、学生や社会人として頑張っている先輩の話に熱心に聴き入っていました。

